



# 千代田っ子

学校だより  
令和5年度  
第9号

令和5年12月15日



## 令和5年度 期末学校評価 集計結果について

12月、児童並びに保護者の皆様と教職員を対象にした2回目のアンケートを実施しました。

今回のアンケートも、よりよい学校づくりのために本校が取り組んできた教育活動について、児童・保護者・教職員の三者が、各項目についてどのように捉えているかを比較できるような形で実施しました。また、今回の結果は、7月に実施した中間学校評価と比較できるように表示しています。アンケート結果は、千代田小学校の教育の成果と課題を探る貴重なご意見として、改善策に役立ててまいります。ご協力いただき、ありがとうございました。

\* 4(青)：あてはまる 3(緑)：だいたいあてはまる 2(黄)：あまりあてはまらない 1(赤)：あてはまらない  
\* 「4+3」の肯定的な評価の割合で評定。90%以上-A, 75-90%未満-B, 60-75%未満-C, 60%未満-D  
\* 全体的に教職員の評価が伸びてきています。子供たちは着実に成長しています。

項目	設問	対象	評価項目	アンケート結果 *グラフは%	今回		比較	7月	
					4+3	評定		4+3	評定
かしこく	1	児童	先生や友達の話をよく聞き、落ちついて学習している。		93.0	A	↘	91.9	A
		保護者	先生や友達の話をよく聞き、落ちついて学習している。		86.3	B	↘	83.9	B
		教員	先生や友達の話をよく聞き、落ちついて学習している。		80.6	B	↘	62.2	C
	2	児童	勉強がよく分かる。		91.8	A	↘	91.0	A
		保護者	お子さんは、学習内容を理解している。		84.6	B	↘	80.6	B
		教員	児童は学習内容をよく理解している。		88.9	B	↘	73.0	C
	3	児童	宿題や家庭学習にしっかりと取り組んでいる。		90.5	A	↗	92.4	A
		保護者	宿題や家庭学習にしっかりと取り組んでいる。		81.3	B	↘	80.9	B
		教員	宿題や家庭学習にしっかりと取り組んでいる。		94.4	A	↘	86.5	B
	4	児童	タブレットを使って自分で学習を進めることができる。		95.5	A	↘	94.0	A
		保護者	お子さんは、タブレットを使った学習を楽しみにしている。		94.0	A	↘	93.5	A
		教員	タブレットを使って児童一人一人に合った学習を進めている。		88.9	B	↘	75.7	B

児童・保護者・教員とも、7月に比べてほとんどの項目で評価が上がっています。

今の学年での学習環境・学習方法にも慣れ、自信がついたり、成果となって表れたりしていることがこの結果から考えられます。

ただ、7月と比べ評価は上がっていますが、項目2、3の保護者・教員の評価では「4」をつけた人の割合は低いです。

また、児童の家庭学習の取組評価のみが7月に比べて下がっています。周りの友達の頑張りと比較し、自己目標が高くなってきた良い傾向かと考えています。

改善策

**〈学校では〉** 学年のまとめの時期となりますので、しっかり当該学年の学習が身につくように、落ちついた学習環境で授業を進めていきます。

**〈家庭では〉** 引き続き、家庭学習や宿題の様子について、点検や見守りの継続と励ましをよろしくお願いいたします。また、学校で落ちついて学習に取り組めるように、筆記用具や教科書ノート等の持ち物が揃っているか、確認をお願いします。

5	児童	元気よく遊んだり、運動したりしている。	70.9	19.9	7.51	90.8	A	↘	93.3	A
	保護者	元気よく遊んだり、運動したりしている。	66.7	24.5	6.72	91.1	A	=	91.1	A
	教員	元気よく遊んだり、運動したりしている。	44.4	55.6	0.0	100.0	A	↘	97.3	A
6	児童	風邪などの病気にかからないように、規則正しい生活をしている。	49.0	41.8	6.52	90.8	A	↘	89.8	B
	保護者	風邪などの病気にかからないように、規則正しい生活をしている。	32.1	54.7	11.3	86.8	B	↗	89.2	B
	教員	風邪などの病気にかからないように、規則正しい生活をしている。	5.6	80.6	13.9	86.1	B	↘	81.1	B
7	児童	自分や周りの人の安全を考えて行動している。	63.4	31.1	4.2	94.5	A	↘	91.9	A
	保護者	自分や周りの人の安全を考えて行動している。	34.9	52.2	12.6	87.1	B	↘	84.9	B
	教員	自分や周りの人の安全を考えて行動している。	19.4	58.3	22.2	77.8	B	↘	48.6	D
8	児童	最後まであきらめずに取り組んでいる。	62.7	30.6	5.5	93.3	A	↘	91.5	A
	保護者	お子さんは、最後まであきらめずに取り組んでいる。	27.7	50.5	20.6	78.3	B	↘	77.4	B
	教員	児童は、最後まであきらめずに取り組んでいる。	22.2	69.4	8.3	91.7	A	↘	81.1	B

児童・保護者・教員とも、7月に比べてほとんどの項目で評価が上がっています。項目5については、学校では体を好んで動かす子が多く見受けられるため、教員の評価は高くなっています。しかし、家庭では、寒くなってきたこともありメディアに触れる時間が多くなっていることが予測され、保護者の評価が下がっています。項目6については、生活リズムチェック等取組で意識向上が見られ、児童・教師の評価は上がっていますが、日頃、児童の生活を見守っている保護者の評価は下がっています。生活リズムチェック等の結果からも、メディア使用の時間超過や睡眠時間が短いことなどが見受けられましたので、改善を呼び掛けていく必要があります。項目7の安全を考えた生活については、学校でも廊下を走ったり危険な行動をする児童が随分減り、教員の評価も大幅に上がっています。しかし、冬場は通学路において一層危険が伴いますので、更なる意識向上が必要です。

【学校では】

3学期にも生活リズムチェック等を計画しています。チェックシートへの記入を通して、規則正しい生活を意識させていきます。また、日常的に、雪道の歩き方についてなど安全な登下校ができるように声を掛けていきます。

【家庭では】

今後も規則正しい生活ができるようにご家庭で見守りや声掛けをお願いします。また、冬期間は外出する機会も減り、スマホやゲームに触れる時間も長くなります。ぜひご家庭で時間やルールを決め、そのルールが守れるように支援をお願いします。

改善策

9	児童	楽しく学校に通っている。	68.2	25.4	4.5	93.5	A	↘	90.8	A
	保護者	楽しく学校に通っている。	56.3	36.5	4.9	92.9	A	↘	89.5	B
	教員	楽しく学校に通ってきている。	52.8	47.2	0.0	100.0	A	↘	94.6	A
10	児童	進んで挨拶をしたり、場に合った言葉遣いをしたりしている。	56.5	37.1	5.2	93.5	A	↘	91.2	A
	保護者	進んで挨拶をしたり、場に合った言葉遣いをしたりしている。	26.9	53.6	17.6	80.5	B	↗	82.5	B
	教員	進んで挨拶をしたり、場に合った言葉遣いをしたりしている。	19.4	50.0	30.6	69.4	C	↘	51.4	D
11	児童	自分にはよいところがあると思う。	55.0	32.3	7.5	87.3	B	↘	82.4	B
	保護者	お子さんが自分のよさに気付くような声掛けをしている。	23.6	61.8	14.6	85.4	B	↘	85.2	B
	教員	児童が自分のよさに気付くような声掛けをしている。	58.3	36.1	5.6	94.4	A	↗	97.3	A
12	児童	いじめは絶対に許されないという思いをもち、誰とでも仲良く学校生活を送っている。	81.6	14.2	3.5	95.8	A	↗	97.5	A
	保護者	いじめは絶対に許されないという思いをもち、誰とでも仲良く学校生活を送っている。	60.2	35.4	4.1	95.6	A	↘	95.4	A
	教員	いじめは絶対に許されないという思いをもち、誰とでも仲良く学校生活を送っている。	63.9	36.1	0.0	100.0	A	↘	91.9	A
13	児童	千代田っ子の約束を守り、人の迷惑をかけない生活をしている。	81.6	14.2	3.5	95.8	A	↘	94.5	A
	保護者	「きまり」や「やくそく」を守って生活している。	40.4	51.6	7.4	92.0	A	↘	91.1	A
	教員	千代田っ子の約束を守り、人の迷惑をかけない生活をしている。	19.4	69.4	11.1	88.9	B	↘	70.3	C

児童・保護者・教員とも、7月に比べてほとんどの項目で評価が上がっています。特に、項目9について、児童・保護者・教員とも「楽しく学校に通っている」という評価が上がっています。今年度の千代田小学校のランドデザインでは、児童の評価の3・4をつける子が100%になることを目指していますが、少しずつ近づいています。項目13について、児童の規範意識が高くなり、「千代田っ子のきまり」等のきまりを意識した生活ができるようになってきていると児童・保護者・教員とも感じていることは大きな成果となりました。しかし、項目10の「言葉遣い」や「あいさつ」については、保護者・教員ともに、7月に比べて評価が下がっています。いじめの意識についても継続して、児童に「いじめは許されないこと」と呼び掛けていく必要があります。

【学校・家庭では】

児童が自分からあいさつをする習慣が付くように、また正しい言葉遣いができるように、大人が働きかけていく必要があります。児童が挨拶を返せるように「目を見て挨拶をする、挨拶が返ってくるのを待つ」「間違った言葉遣いは、正す」ことを教員も意識して取り組んでいきますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

【学校では】

更に、楽しく学校生活を送れるように、児童一人一人が自分のよさに気付くような声掛けを日常的に行い、自信をもたせていきます。いじめ対応についても、いじめの芽を出さない、またはいじめの芽を摘み取れるように、友達との関わりについて見守りを続けていきます。

改善策